

日本原水協活動交流ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話:03 - 5842 - 6031 2015年
FAX:03 - 5842 - 6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com 12月24日発行

被爆者を励ます集いを開催【愛知】

一高校生、大学生らを前に被爆者が体験を語る



あいち被爆者支援ネットは、「被爆者を励ます集い」を20日に開催し、被爆者16名を含む市民61名が参加しました。

最初にノーモア・ヒバクシャ愛知訴訟の弁護団、原告らから挨拶があり、みんなで「青い空は」など歌を歌った後に、4つのグループに分かれ、お弁当を食べながら、被爆者のお話を聞きました。

「川岸に女学生がピアノの鍵盤のように死んでいた」、「内蔵が破裂した人を見た」、「両足を切断することを手伝った」、「母親から逃げなさいと言われ、自分だけ逃げてしまった」「生き別れになったままだった友人と従姉妹の証しをこの夏に長崎を訪問し発見することができた」、「水、水と求められたが、死ぬと言われていたのでやることができなかった」など、一人ひとりの被爆体験をじっくりうかがうことができました。

グループでの懇談後はリレートークの時間。青年たちが、被爆体験を聞いての感想や、核兵器廃絶、平和への思いを語りました。青年らは、被爆体験、戦争体験を聞くことができる最後の世代として、戦争ではなく、対話でこそ平和をつかっていきたい、多くの仲間に被爆の実相を伝え、平和のために活動していきたいと力強く語ってくれました。

なお、当日、中京テレビの取材があり、21日朝に放映されました。

